

兵庫県保険医協会

但馬支部ニュース

No.154

2018年1月25日発行

発行 兵庫県保険医協会但馬支部
連絡先 〒669-5346 豊岡市日高町伊府660
谷垣医院 TEL/079-644-0010 FAX/079-644-0706



2018年 新年のご挨拶

支部長 谷垣 正人

明けましておめでとうございます。
皆さまは新しい年をどのように迎えられたでしょうか？

私の方は、ひとつは良いニュースで、昨秋から当院の周りの田んぼにもコウノトリが飛来し、悠然と餌を啄んでいる姿を診察室から見られるようになりました。一度減んだ種が復活して野生化するとは、すごい取り組みだったといまさらながら感心しています。

もうひとつは、いま国をあげて在宅ケアの重要性が強調され、豊岡市は在宅死亡の割合が日本一とも喧伝されています。当院では、年末から年始にかけて、朝訪問した家族やヘルパーに発見された老人の孤独死が2人もあり、死亡確認や検死に追われました。

要介護老人は、誤嚥性肺炎、大腿骨骨折、認知症などが多く、これらの病気は病院に入院して軽快しても、帰宅すればまた同じことを繰り返します。

ところが自宅で、家族に看てもらえるケースは多くありません。これは家族の問題というよりは、雇用の非正規化・労働者の相対的貧困化に伴う共稼ぎ化、そしてそれによる教育、家事、介護などの外部化（費用を払って家庭外に委託すること）の結果で、きわめて政治・経済的問題のように思われます。これで在宅ケアが本当に可能なのでしょうか？

結局在宅ケアは近い将来、デイケアやショートステイも含めて施設ケアに収斂していかざるをえないように思われます。いまはその過渡期で、要介護老人の多くが、病院からは退院を求められ、施設には入れず、居場所を求めて漂流中です。今回孤独死された2人の老人も、豊岡市の在宅死亡の割合を上げることになるのでしょうか？

本年もどうかよろしくお願い申し上げます。

支部シリーズ企画『他科を知る会』（救急医療シリーズ第1回）

「救急現場の症例から」



質疑も交え活発な意見交換がされた

支部では11月25日、第1回救急医療症例検討会を公立豊岡病院で開催、同病院但馬救命救急センターの藤崎修先生が講演され、会員10人が参加した。

はじめに、谷垣正人支部長より救急医療シリーズを開催するにあたり、「救急医は開業医の後医、言わば『最後の砦』であり、この会が開業医と救急医の経験を交流させる場になれば」とあいさつ。

講師の藤崎先生はまず、「救急医というと、3K(きつい、汚い、危険)に加えて4K(+怖い)のイメージがあると思うが、時間に追われる仕事をしているため『瞬間湯沸かし器』のような医師が多く、そこは許してほしい」と会場を和ませ、参加者から笑いが起こった。

そして、公立豊岡病院但馬救命救急センターは、1次救急から3次救急まで受け入れる北米型ERの形態をとっており、簡単な手術や内視鏡治療、ICU管理まで、かなりの医療を同センター内で完結できる全国的にもユニークな方式をとっている。また同センターの特徴であるド

(3面につづく)

（2面からつづく）

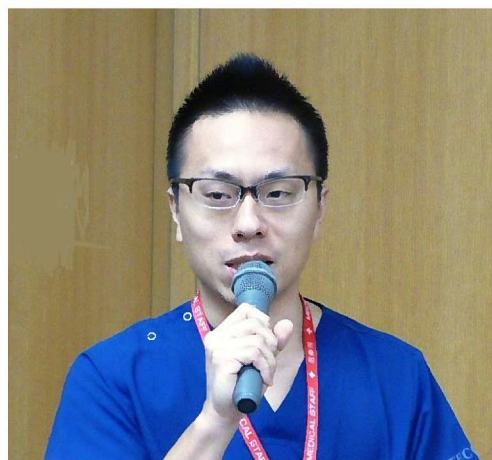
クターヘリ・ドクターカーは、発症から治療開始までの時間の短縮が目的で、これが但馬地域の救命率の向上に繋がっている、との説明があった。そして、実際にあった、中枢性尿崩症の若い女性患者が開業医からの早い紹介で助かった症例の提示と、外傷患者の生存率が上がってきている報告があった。

開業医から同センターへの紹介について、紹介があれば同センター側は原則として100%受け入れるが、その際、紹介状は後からでもいいが、病態とバイタルサイン、来院手段、そして家族についての4つの情報は必ず電話で伝えてほしい、と強調した。

救急医の立場から、感染症については、原因微生物を推定または同定して治療を開始するため、その前に抗生剤が投与されていると治療が非常に困難になること、脳卒中の場合は、t-PA治療や血管内治療をするには発症後何時間経っているかが決め手になるので、それをまず教えてほしいこと、さらに心筋梗塞については、ECGの結果と可能なら20G以上の針によるルート確保があれば非常に助かること、などの要望があった。

また、重症患者にせつかくドクターヘリで駆けつけても、本人や家族からDNRの書類が出ており、それが周囲に徹底されていないことがしばしばあること、経口の第3世代セフェムは吸収率が悪く無効な場合が多いことなどを紹介した。

最後に参加者から、救急受診時の検査や画像のデータを開業医にも送ってもらえないか、小児の肺炎患者や骨折患者への対応、アナフィラキシー患者へのアドレナリン注射などについて質問があり、活発な討論が行われた。支部では今後この勉強会をシリーズ化する予定である。



講師の公立豊岡病院但馬救命救急センター藤崎修先生

幹事会だより

2017年12月9日(土)日高地区公民館で第176回幹事会を開いた。以下、主に議論された内容を報告する。

- 会員懇談会を医科歯科連携企画で「口腔ケア」をテーマに具体化したい。歯科の先生から医科の先生への要望や質問も事前に集約したい。

※幹事会は、会員の先生あればどなたでもご参加いただけます。お問合せは、担当事務局 足立（TEL：078-393-1805）まで。

新点数研究会のご案内（但馬会場）

①新点数研究会（医科 / 歯科 / 介護）のご案内

・日 程：3月25日（日）

・会 場：日高地区公民館

※スケジュール等詳細は、あらためてご案内差し上げます

②新点数Q & A研究会（医科）のご案内

・日 時：4月28日（土）15時～

・会 場：日高地区公民館2階

※テキスト代等詳細は、あらためてご案内差し上げます

お知らせ

協会ウェブサイトでは、
 「2018年診療報酬改定特設ページ」
 を公開しています。

アドレスは、以下の通りです
<http://www.hhk.jp/kaitei2018/>



改定情報をいち早くお届けします

保険医協会の共済制度をお勧めします！

団体定期生命保険 **グループ保険** 保険の見直しに効果大 ネット生保と比べてみてください

- 団体保険だから断然安い保険料
- 配偶者1000万円セット加入あり
- 最長75歳まで保障
- 最高5000万円の高額保障
- 過去8年の平均配当率46%
- いつでも増額・減額OK

病気やケガの休業に備えて、高い保険料を払っていませんか？
休業保障制度 非営利・助け合いの共済だから 掛金は割安、かつ満期まで上がりません！

最長75歳まで730日の充実保障 / 掛け捨てではありません / 中絶・高度障害給付あり / 自宅療養、代診をおいても給付 / うつ病等の精神疾患、認知症も給付 / 妊娠・出産に起因する併発病、帝王切開も給付 / 他制度の給付に関係なくお支払い

損害保険の団体割引もご利用ください。
 所得補償保険、医師賠償責任保険、自動車保険、火災保険

お問合せは共済部まで ☎ 078-393-1805

☆投稿募集☆

先生方の投稿を募集しております。日常診療・趣味など何でも結構です。お写真などもお気軽にお寄せ下さい。

協会事務局 足立まで
 TEL: 078(393)1805
 FAX: 078(393)1802